

2021年度上期決算実績 および 中長期経営計画の進捗状況

2021年11月4日



日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

Executive Summary	3
1. 2021年度上期決算実績および2021年度見通し	4 - 12
2. 中長期経営計画の進捗状況	13 - 28
3. 参考資料	29 - 36

※2022年3月期第1四半期の期首から収益認識に関する会計基準等を適用しており、2021年3月期第1半期より遡及修正しております。

Executive Summary

2021年度上期決算実績および2021年度通期見通し

- 中長期経営計画の施策実行効果に加え、鋼材市況の上昇等を背景に、2021年度の経常利益・当期純利益は共に過去最高益を更新する見込み
- 配当は上期160円（8月予想対比 +15円）、通期見通し300円（〃 +40円）

億円	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度見通し	
			上期		上期	
経常利益	364	332	96	257	(205) 227	(390) 430
当期純利益	232	207	52	159	(145) 159	(260) 300
配当(円)	220	200	50	160	(145) 160	(260) 300

中長期経営計画の進捗状況

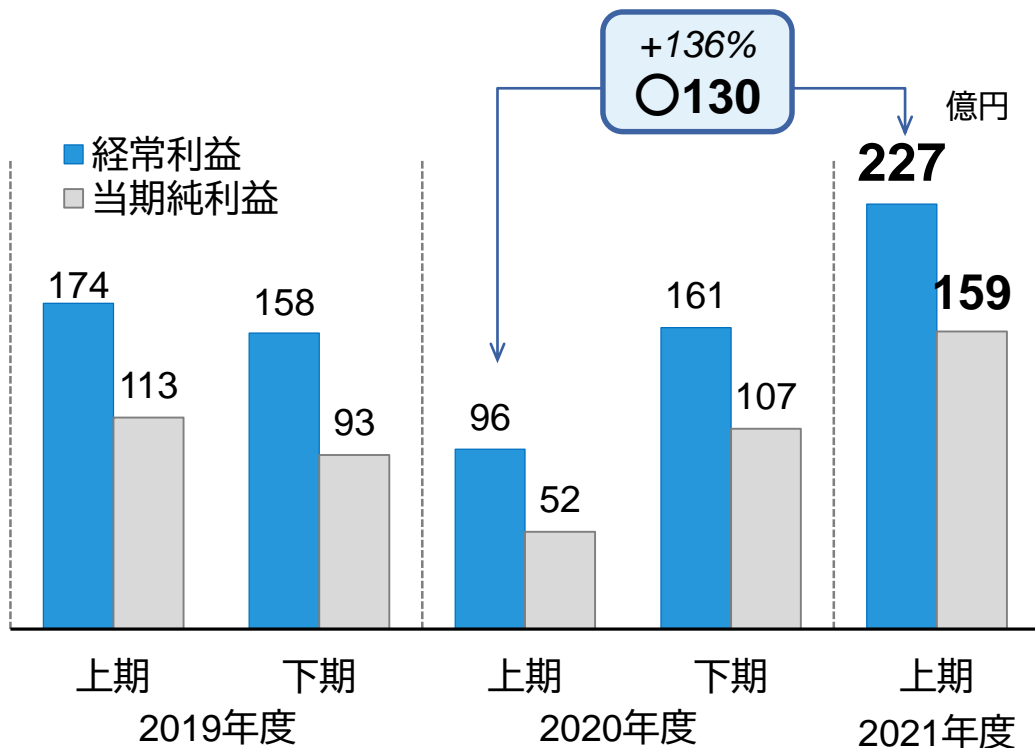
(8月見通し)

- 中長期経営計画の経営目標については、初年度で3か年到達目標に対し、固定費圧縮などの事業基盤強化策は約8割（〇79億円）、成長戦略は約6割（〇60億円）の効果発揮見込み
- 三井物産グループとの繊維事業提携および事業統合を正式に決定
- 脱炭素社会・環境保全への貢献など、ESG関連施策を強力に推進

1. 2021年度上期決算実績および 2021年度通期見通し

2021年度上期決算のポイント

- 中長期経営計画施策(事業基盤強化、成長戦略)の実行および環境回復(鋼材数量・価格等)により増益
- 経常利益 227億円 (前年同期比 ○130億円)
- 当期純利益 159億円 (前年同期比 ○107億円)
- 足元の業績好転を踏まえて通期業績及び配当予想を上方修正



業績予想の修正

8月予想

億円	上期	下期	通期
経常利益	205	185	390
当期純利益	145	115	260

今回予想

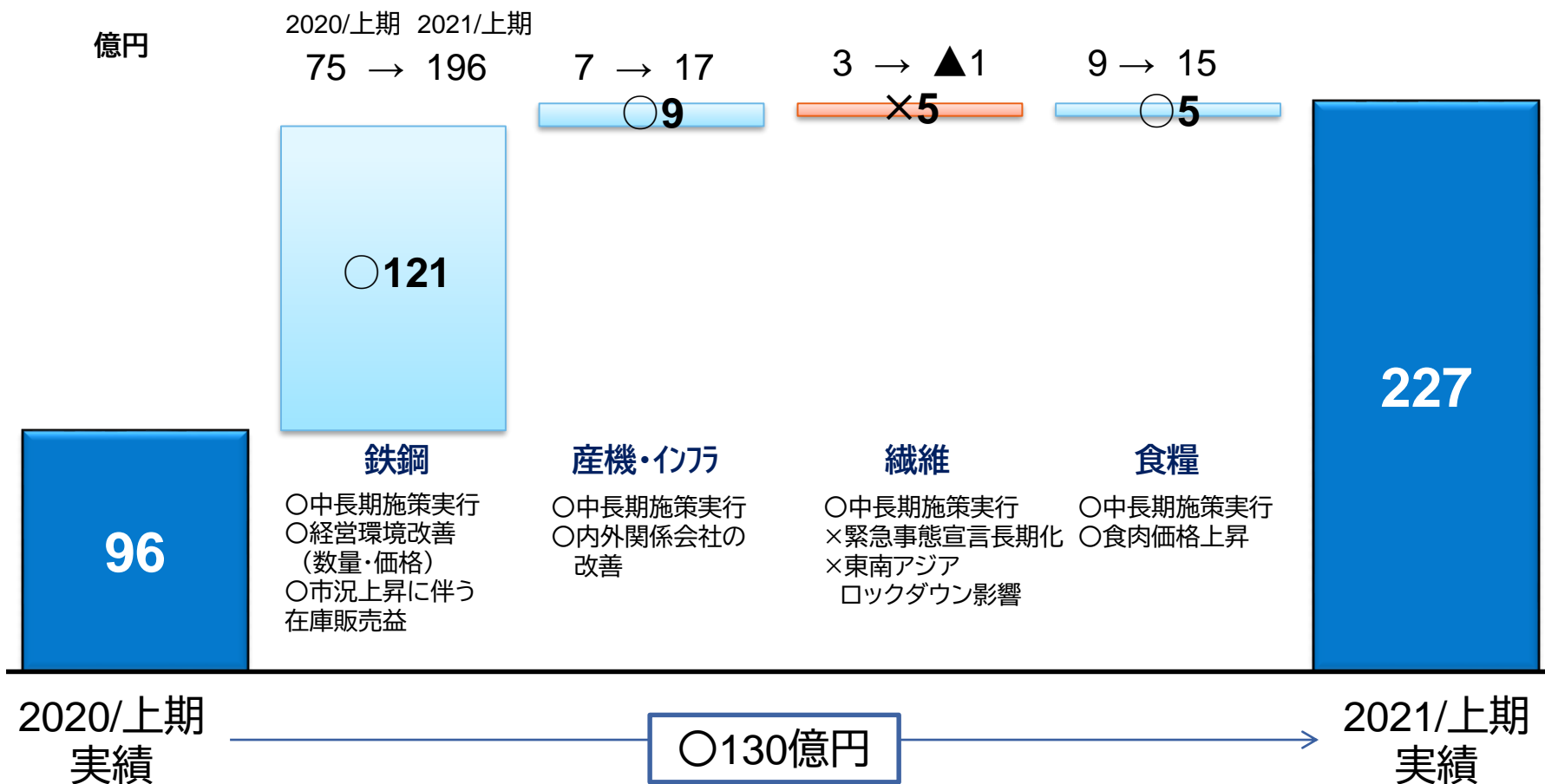
億円	上期	下期	通期
経常利益	227	203	430
当期純利益	159	141	300

通期配当予想の修正

260円→300円に増配

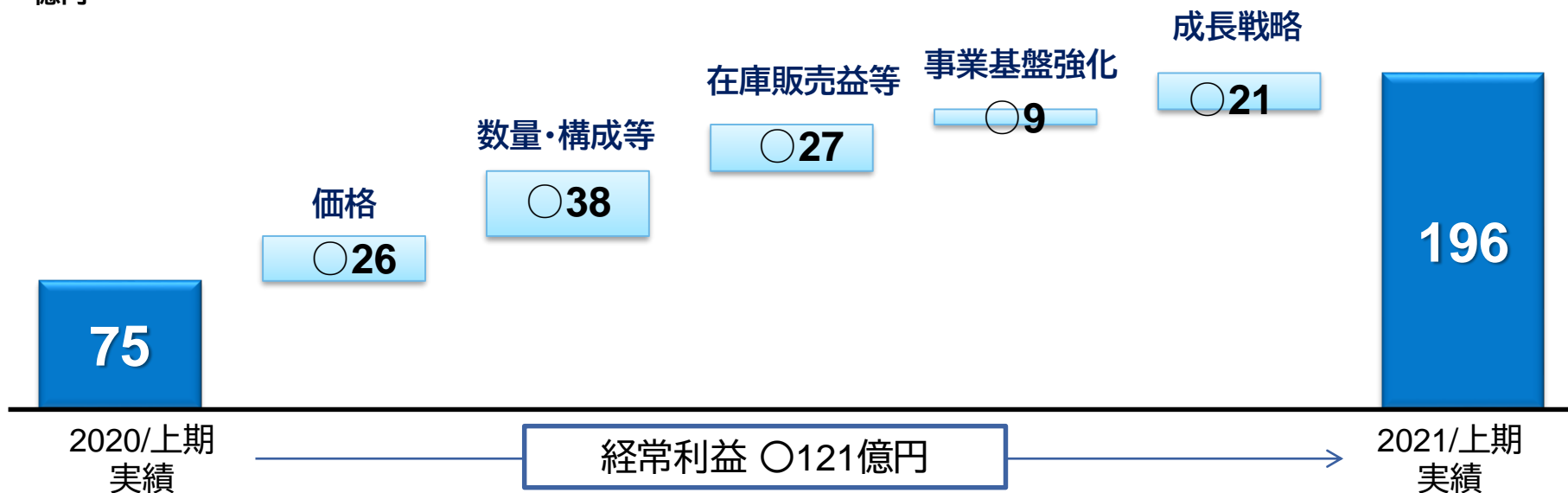
経常利益増減要因 (2020/上期実績→2021/上期実績)

- 中長期経営計画施策の実行による収益改善に加え、鉄鋼事業の鋼材数量回復・価格上昇により増益
- 繊維事業は依然として厳しい経営環境が継続



鉄鋼事業經常利益増減 (2020/上期実績→2021/上期実績)

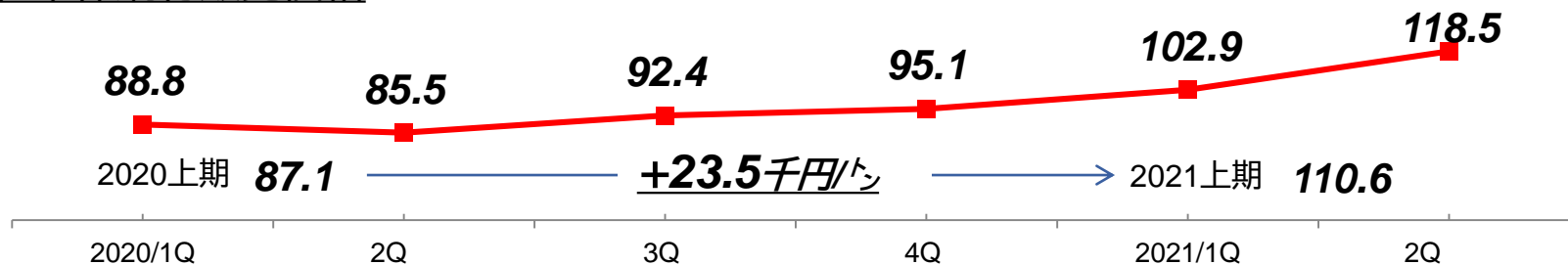
億円



当社連結鋼材取扱量

万ト	2020上期	2021上期	増減
連結計	815	937	+122

当社単体鋼材販売価格



2021年度業績見通し

- 足元の業績好転を踏まえて通期業績予想・配当予想を上方修正
- 通期で経常利益 430億円、当期純利益 300億円、配当 300円(配当性向 32.3%)の見通し

億円	2021年度 8月予想			増減
	上期	下期	2021年度 今回予想	
鉄鋼	176	138	314	○ 46
産機・インフラ	11	15	26	○ 3
繊維	4	18	22	× 10
食糧	14	14	28	○ 1
経常利益	205	185	390	○ 40
当期純利益	145	115	260	○ 40
配当(円/株)	145	115	260	○ 40
配当性向			32.3%	32.3%

上期227→下期203 ×24

・中長期経営計画施策の実行による収益改善を見込む一方で、上一過性利益※剥落、本社移転経費等増

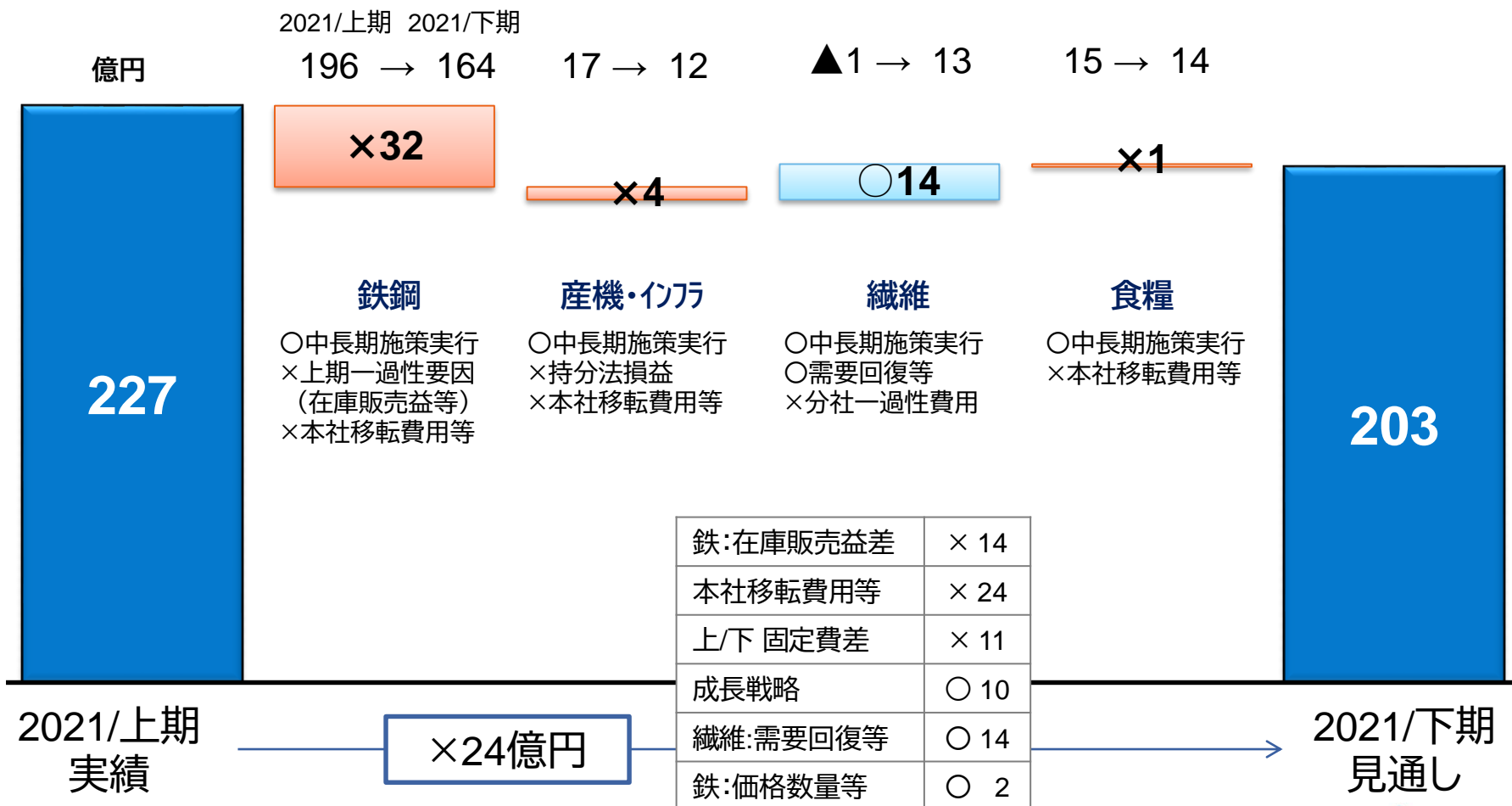
※価格上昇局面における在庫販売益等

当初予想390→今回予想430 ○40

・主に鉄鋼の環境改善(価格上昇等)

経常利益増減要因 (2021/上期実績→2021/下期見通し)

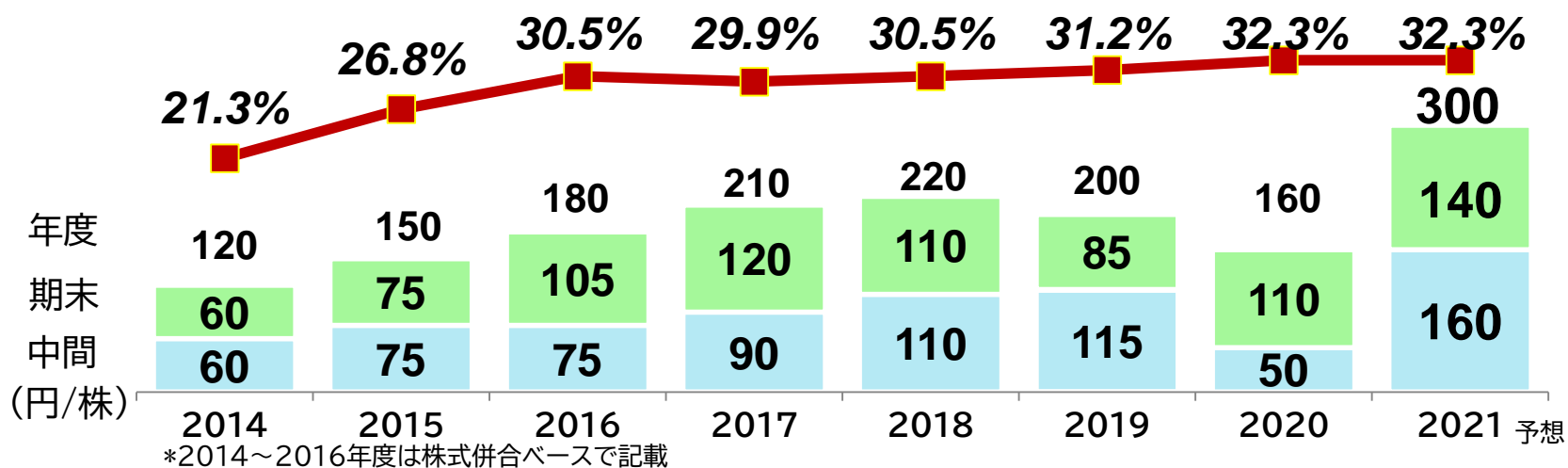
- 中長期経営計画施策の進展はあるが、上期の鉄鋼市況上昇過程における一過性益の解消に加え、本社移転費用等を見込み上期に対し×24億円の減益見通し



配当見通し

当社配当の推移

	2019年度	2020年度	2021年度		
			中間	期末予想	
当期純利益	207 億円	159 億円	159 億円	141 億円	300 億円
配当	200 円	160 円	160 円	140 円	300 円
配当性向	31.2%	32.3%			32.3%

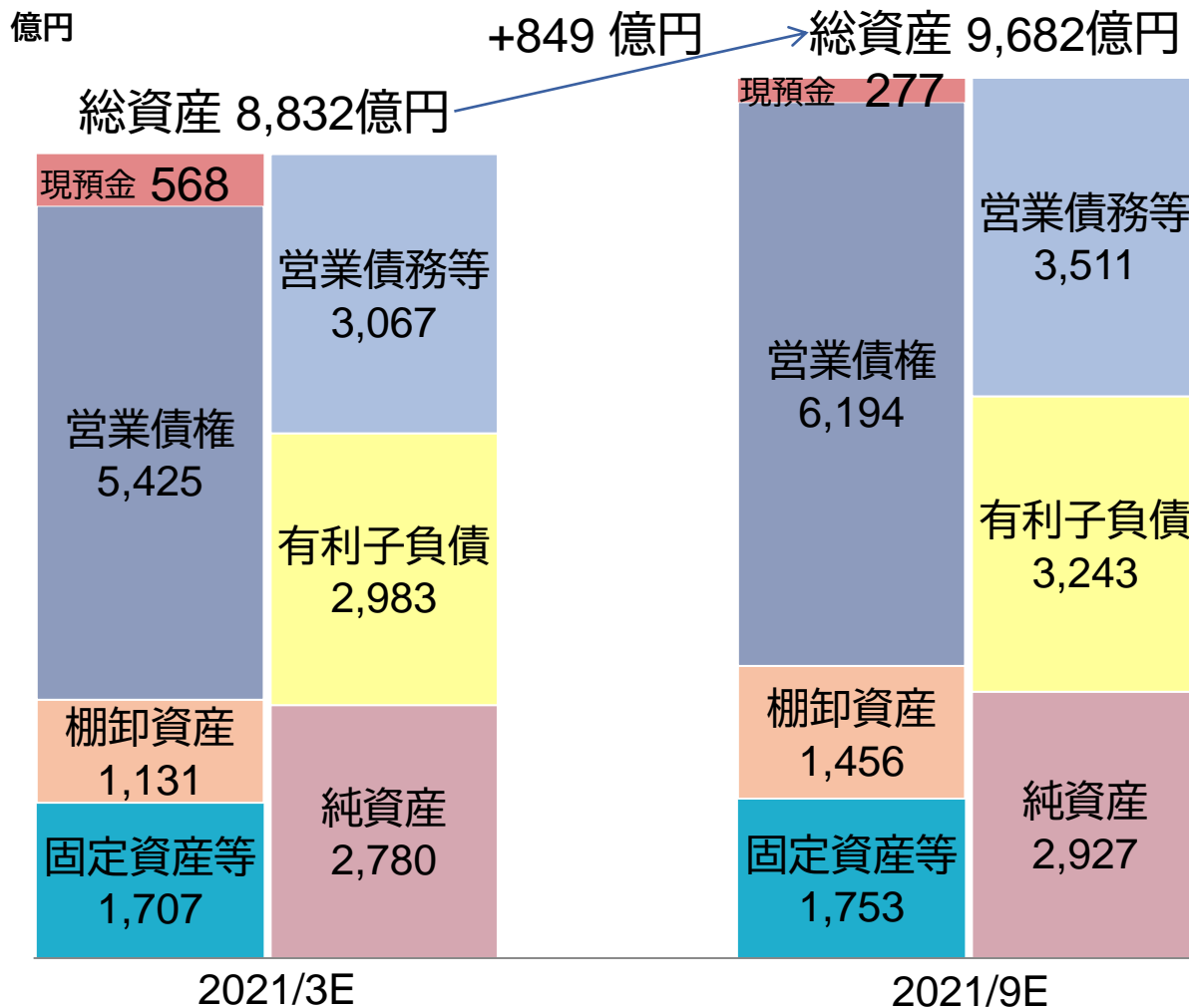


(参考)配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと考え、財務体質の改善を図りつつ、連結配当性向30%以上を目安に業績に応じた配当を行うことを基本方針といたしております。

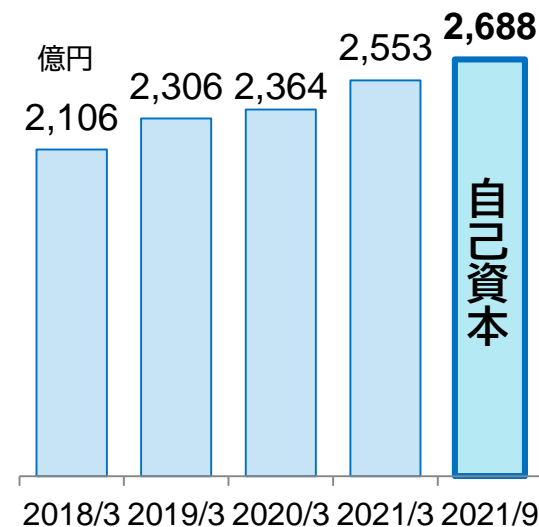
バランスシートの状況

- 増収に伴い、主として運転資金が増加



	2021/3E	2021/9E
自己資本比率	28.9%	27.8%
Net - D/Eレシオ	0.95倍	1.10倍

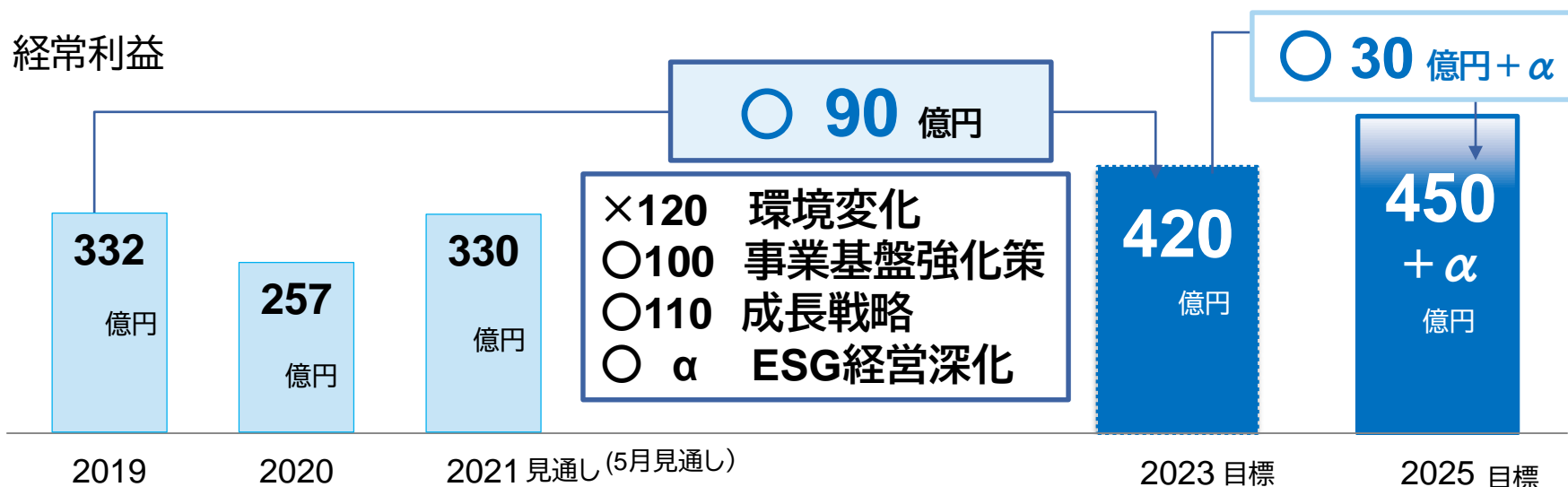
自己資本の推移



キャッシュフローの状況

億円		2020/上期	2021/上期
	税金等調整前当期純利益	84	235
	減価償却費	27	31
	持分法による投資損益	-10	-18
	金利・税他	-41	-77
	小計	59	170
	運転資本増減	509	-651
	営業キャッシュフロー	568	-481
	投資キャッシュフロー	-63	-20
	フリーキャッシュフロー	505	-501
	財務キャッシュフロー (有利子負債増減等)	-109	194
	現預金等増減	391	-300

2. 中長期経営計画の進捗状況



定量目標

- 経常利益目標 2023年度 **420** 億円、2025年度 **450** 億円 + α
- 当期純利益目標 2023年度 **260** 億円、2025年度 **280** 億円 + α
- ROE **9~10%**
- ROIC **6%** 程度
- Net D/Eレシオ **1.0倍以下**
- 配当性向 **30%以上を目安**

投入計画

- 投資計画 **750** 億円(2021~2025年度)
- システム投入計画 **170** 億円(2021~2025年度)

中長期CO₂削減目標

- 2030年度 **▲30%**
- 2050年度 **カーボンニュートラル**

2021年度経常利益見通しと施策実行状況

億円	2019実績	2020実績	2019→2021 損益増減					2021見通し	2023目標	2025目標	
			合計	環境変化	移転費用他	事業基盤強化	成長戦略				
鉄鋼	222	191	○ 138	○54	× 20	○ 56	○ 48	(314) ○46 360	310		
産機 インフラ	37	25	× 8	× 17	× 2	○ 7	○ 4	(26) ○3 29	37		
繊維	46	16	× 34	× 41	× 9	○ 12	○ 4	(22) ×10 12	40		
食糧	24	23	○ 5	-	× 2	○ 3	○ 4	(28) ○1 29	35		
経常利益	332	257	○ 98	× 4	^{*1} ×33	○ 79	○ 60	(390) ○40 430	420	450+α	
			*1 本社移転経費、DX関連経費増、繊維分社化経費他					(8月見通し)			
計画時想定			○ 90	×120		○ 100	○ 110				
当期純利益	207	159						(260) ○40 300	260	280+α	

事業環境等

- 日本経済
 - ・ 緊急事態宣言の長期化により低成長
 - 世界経済
 - ・ 欧米は回復傾向が継続するも、東南アジアはロックダウン等により低迷
 - 鉄鋼需給
 - ・ 中国のCO₂対策による減産、輸出抑制策の影響大
 - ・ 世界的な需給タイト化等により鋼材価格は上昇
- } 下期にかけて徐々に回復
→ 今後の動向注視

□ 事業環境変化に伴う増減益要因想定

億円	2019→2021 見通し		2019→2023 中長期計画想定
鉄鋼	○ 54	鋼材市況上昇○95、鋼材需要減他×41	×75
産機・インフラ	× 17 *	×自動車減産、鉄道投資減、厨房機器減 * 2019年度の一過性利益(8億円)の剥落含む	×16 *
繊維	× 41	×緊急事態宣言長期化影響他	×30
食糧	-	×外食向け減、○中食・肉食向け増	-
合計	× 4		×120

□ 一過性等の経費増 (本社移転経費、DX関連経費、繊維分社化経費等)

2021見通し ×33億円 (中長期計画想定: ×120億円の内数に一定の経費増等を見込む)

事業基盤強化による強靱な企業体質の構築

2023年度固定費削減目標 ○100億円に向け、順調に進行中

億円 / 年度	2019	19→20	2020	20→21	2021見通し	21→23	2023計画
計画				+53	○ 73億円	+27	○ 100億円
見通し	Base	+20	○ 20億円	+59	○ 79億円		進捗率 79%

単体

■ 「付加価値生産性の向上」

当社本体の人員効率化

一般管理費削減

2019→2021見通し

○ 42 億円

○ 19 億円

○ 23 億円

2019→2023計画

○ 50 億円

○ 30 億円

○ 20 億円

子会社

■ 「製造・販売拠点の再編・統合・撤退」

子会社人員効率化

子会社一般管理費削減

○ 37 億円

○ 13 億円

○ 24 億円

○ 50 億円

○ 30 億円

○ 20 億円

製造・販売拠点の再編・統合・撤退

低ROIC組織の課題抽出及び対策を実施、特に低ROICの組織については重点的に対策実施

- **本体** 各部・支店・営業所を効率化の観点から統合等を推進
 - 本体組織 (2019年度末) **92部** → (2021/9末) **86部**
 - 秋田、静岡、岡山、小野田、愛媛、中津、熊本の各支店・営業所を統廃合
- **子会社** 統合時 (2014年度末) 2019年度末 ~2021/10月 決定分 2023年度末 計画

98社 → **89社** → **77社** + 新規連結6社 **68社程度**

(参考) 既に意思決定・実行済みの案件例

区分	事業	再編前	再編後	時期
再編・統合	鉄鋼	・NSMコイルセンター ・NSTコイルセンター	・NSMコイルセンター	2021/4
		・当社メカニカル鋼管事業の一部 ・岡山原田鋼管 ・古庄産業	・日鉄物産メカニカル鋼管販売	2021/4
		・日鉄物産特殊鋼西日本 ・日鉄物産特殊鋼中部	・日鉄物産特殊鋼	2021/4
		・タカハシスチール ・日鉄物産溶材販売	・日鉄物産ワイヤ&ウエルディング	2020/4
		・日鉄物産名古屋コイルセンター ・三栄大丸	・日鉄物産名古屋コイルセンター	2022/4
		・東莞鐵和金属制品(中国) ・東莞住金物産金属制品(中国)	・東莞鐵和金属制品(中国)	2021/6
		・NST三鋼販 ・日鉄物産ワイヤ&ウエルディング ・NS建材販売 ・日鉄物産鉄建関東	・日鉄物産ワイヤ&ウエルディング ・NS建材販売	2022/4
		撤退	繊維	・瑞耕服装(大連) (メンズスーツ縫製)

成長戦略の推進による安定的な利益拡大

成長分野・地域に経営資源を重点的に投入し、次世代収益の柱を造り込む

● 2019→2021年度見通し

○60 億円

進捗率 55%

2019→2023目標

○110 億円

鉄鋼

○48 億円

産機

○4 億円

繊維

○4 億円

食糧

○4 億円

1. 新規需要捕捉

2. 海外事業の深化・拡充に向けたグローバル戦略の推進

3. 主要ユーザー連携、流通・加工強化とソリューション提供による拡販・収益性向上

4. 流通効率化や新たな事業創出につながる M&A, アライアンス戦略の推進

5. デジタルトランスフォーメーション戦略の推進

(鉄鋼)

- 自動車分野(EV用モーター・電池関連素材・超ハイテン等)
- 情報通信分野向け高機能素材(スマートフォン用ステンレス等)
- SDGs対応素材(船舶スクラバー用ステンレス、再生可能エネルギー分野向け素材等)
- 海外インサイダー化の更なる推進(ローカルミル活用による拡販等)
- 海外自動車分野向け取引拡大(中国、北米向け等)
- 建材分野販売拡大(システム建築新商品NEOの投入等)
- 月星商事連結子会社化

(産機)

- 海外アルミ需要捕捉

(繊維)

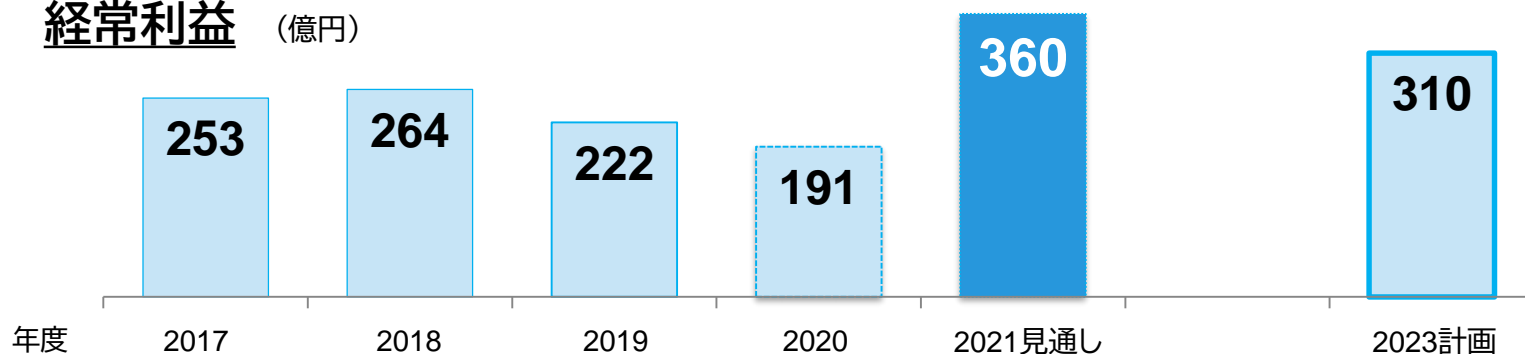
- 新ブランド、新規ユーザーへの拡販

(食糧)

- エシカル消費関連商品拡販

鉄鋼事業

経常利益 (億円)



2019→2021見通し

○ **138** 億円

	2019年度	2021年度見込み	
		上期	見込み
単体鋼材平均単価 (千円/トン)	91.8	110.6	-
連結鋼材取扱数量 (万トン)	1,992	937	1,910程度

環境変化 ○ **54** 億円

価格 ○ 55, 在庫販売益 ○ 40, 数量構成 × 31.他×10

本社移転費用等 × **20** 億円

事業基盤強化 ○ **56** 億円

人員効率化 ○ 16, 一般管理費 ○ 40

成長戦略 ○ **48** 億円

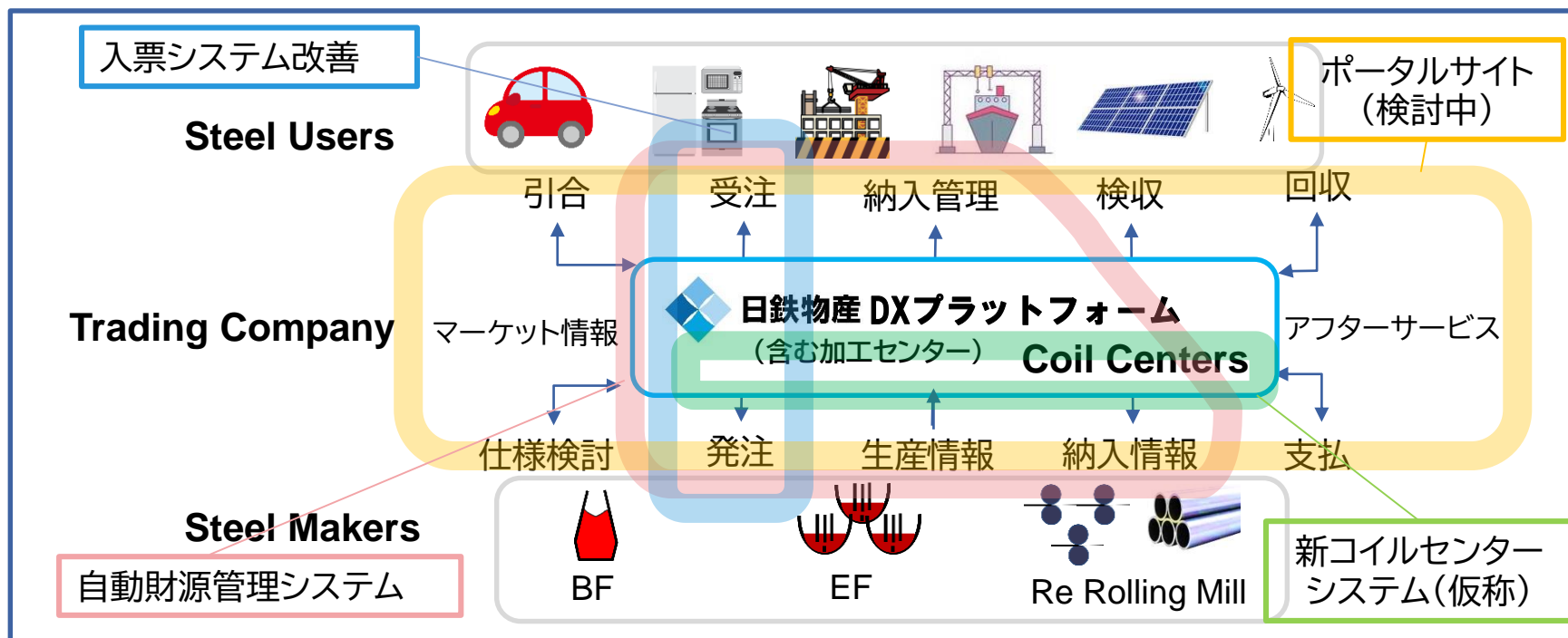
新規需要捕捉 ○ 25, グローバル ○ 15, その他(システム建築、月星等) ○ 8

デジタルトランスフォーメーション戦略による鋼材流通の改革

- 鋼材流通DXプラットフォーム(含む加工センター)を新規に開発し、当社トレーディング業務をデジタル化
 - ユーザー、流通、メーカー一貫での効率化、業務適確性と品質管理を格段に向上
 - 情報のリアルタイム化・可視化による在庫・ロス・物流効率・生産性向上を実現

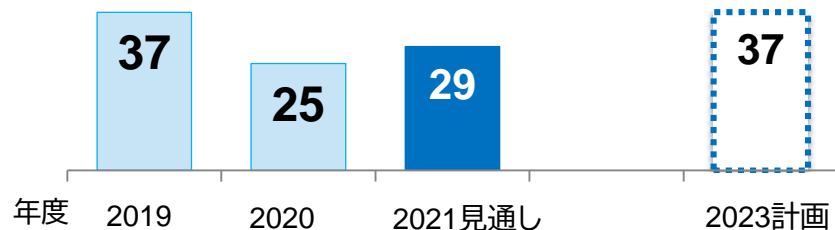
「入票システム改善」「自動財源管理システム」などの社内システムは
21年度下期に本格立上げを経て、引き続き機能拡充・品種分野展開などを継続推進

「新コイルセンターシステム」「ポータルサイト」などの社外連携システムは
22年度上期に基盤を立上げ、中期的取り組みとして機能拡充・拠点展開を更に図るもの



産機・インフラ事業

経常利益 (億円)



2019→2021見通し

× 8 億円

* 2019年度の一過性利益(8億円)除き

± 0 億円

環境変化 × 17 億円

自動車減産、鉄道投資減等

移転費用等 × 2 億円

事業基盤強化 ○ 7 億円

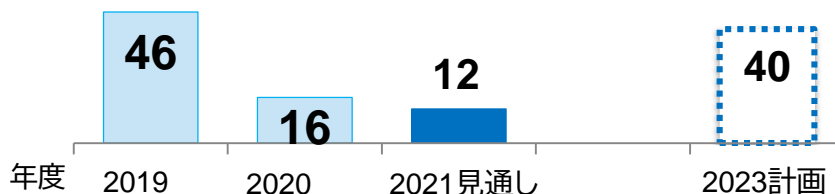
単体 ○ 2、子会社 ○ 5

成長戦略 ○ 4 億円

アルミEV向け、缶材等

繊維事業

経常利益 (億円)



2019→2021見通し

× 34 億円

環境変化 × 41 億円

顧客の在庫圧縮含めた大幅な需要減
東南アジアロックダウン影響

分社経費等 × 9 億円

事業基盤強化 ○ 12 億円

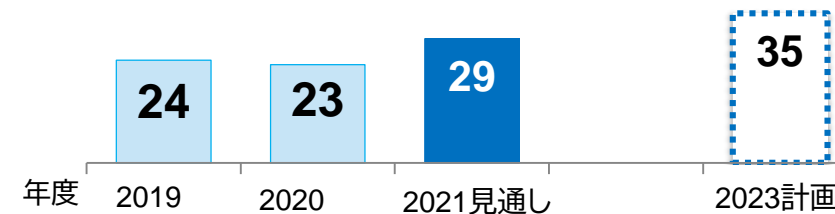
単体 ○ 6、子会社 ○ 6

成長戦略 ○ 4 億円

新規顧客・商材開拓

食糧事業

経常利益 (億円)



2019→2021見通し

○ 5 億円

環境変化 - 億円

外食向け減、中食・内食向増

移転費用等 × 2 億円

事業基盤強化 ○ 3 億円

単体 ○ 2、子会社 ○ 1

成長戦略 ○ 4 億円

PBM(代替肉)、EU産食肉等

繊維事業の三井物産グループとの提携および事業統合

三井物産アイ・ファッション(株)との統合を軸に、繊維事業における三井物産の協業を推進

コア事業である OEM 事業の基盤強化

新たな成長分野での事業機会創出

顧客への提供価値の深化

- 両社販売力と顧客ネットワーク等のシナジー発揮
- 規模を生かした調達効率化と機能強化
- 海外市場向けの事業拡大
- デジタル技術を駆使した新サービスの提供
- サステナビリティを切り口とした新たな事業機会の創出

- デジタル・テクノロジーを活用した顧客の変革を強力にサポート

事業統合・統合新会社の概要

- 統合方式 当社を分割会社とし、三井物産アイ・ファッション(株)を承継会社とする吸収分割
- 株主 当社 50%, 三井物産(株) 50% (両社の持ち分法会社)
- 統合日 2022年1月1日(予定)

(参考) 統合事業の概要

億円	当社繊維事業(連結)*			三井物産アイファッション(株)		
	2018	2019	2020	2018	2019	2020
売上高	1,508	1,300	984	1,103	1,082	796
経常利益	44	46	16	18	22	13

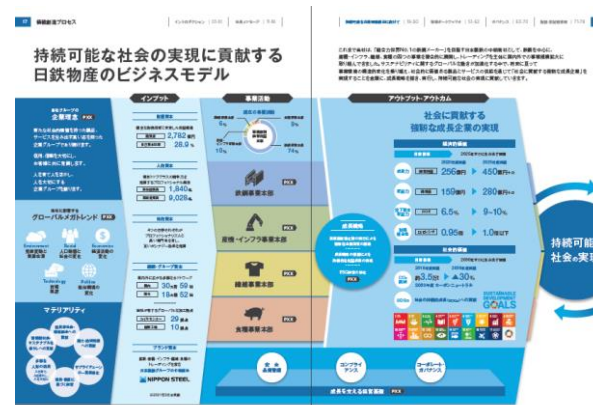
*売上高・経常利益は旧基準で記載しております。

マテリアリティ	主な取り組み							
Environment 脱炭素社会・環境保全への貢献	エコソリューション提案							
	自動車CO2排出量削減、EV・FCV 関連商品の提案	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用ハイテン(高張力鋼板) HSアルシート(アルミメッキ ステンレス鋼板) 高機能電磁鋼板 EVバッテリーケース・FCV燃料電池用素材、水素ステーション用ステンレス他 						
	再生可能エネルギー、排ガス規制関連商品の提案	<ul style="list-style-type: none"> 洋上風力発電用素材(大単重ハイテン厚板) 屋根置き太陽光発電事業 環境対応型船舶スクラバー用 ステンレス材他 						
	日本製鉄の「カーボンニュートラルビジョン2050」への提案・協力	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応型原料 						
	当社グループCO ₂ 削減	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>KPI / 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO2排出量</td> <td>30千ト</td> <td>2030:▲30% (2018対比) 2050:カーボンニュートラル</td> </tr> </tbody> </table>		2020年度	KPI / 目標	CO2排出量	30千ト	2030:▲30% (2018対比) 2050:カーボンニュートラル
	2020年度	KPI / 目標						
CO2排出量	30千ト	2030:▲30% (2018対比) 2050:カーボンニュートラル						
国土・地域発展への貢献	災害に強く、地域に活力を生む街づくりへの貢献	国土強靱化基本計画への対応他						
循環型社会・サステナブルな暮らしへの貢献	エコソリューション提案							
	リサイクル鉄鋼原燃料の供給拡大 LCA関連商品の供給拡大	スクラップ(鉄、ステンレス等)の供給拡大 バイオマス燃料・還元剤・HBI(熱圧延鉄インゴット)供給拡大他 軽量スチール缶素材(ブリキ)、高耐食性スーパーダイマ(高耐食性めっき鋼板) NSエコパイル(回転圧入鋼管杭工法) 環境負荷低減型超ハイテン線材他						

マテリアリティ	主な取り組み												
循環型社会・サステナブルな暮らしへの貢献	労働環境、自然環境に配慮したサプライチェーンCSRの推進 エシカル消費等の社会ニーズに対応したサービスの提供やサプライチェーンにおけるCSR取り組み強化	繊維サステナブル素材(オーガニックコットン、再生リヨセル、リサイクルポリ、竹、カポック、ケナフ等) 食糧(代替肉Plant Based Meat、抗生物質・成長ホルモンフリー豚肉)フェアトレード認証を受けた製品の取り扱い拡大 海外協力工場を含めた生産拠点におけるCSR監査強化による労働環境への配慮 調達材料や備品等におけるグリーン購入の拡大											
サプライチェーンの一貫最適化(情報・技術の活用)	DX対策やICT技術を活用したサプライチェーン一貫での効率化	サプライチェーン(仕入先～当社～顧客)における注文・材料・売買情報の連携プラットフォーム構築による社会全体の効率性向上への貢献											
Social 多様な人財の活用(人を育て人を活かし、人を大切に)	ダイバーシティ&インクルージョンの更なる取組み強化 新卒総合職採用における女性比率30%超の継続 多様な人財が活躍できる働きやすい環境、働きがいのある仕事の創出(テレワーク、育児・介護支援、自己啓発機会の取組み強化等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>KPI / 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新卒総合職採用における女性比率</td> <td>32%</td> <td>30% 超</td> </tr> <tr> <td>障がい者雇用率</td> <td>2%</td> <td>2.3%以上</td> </tr> </tbody> </table>		2020年度	KPI / 目標	新卒総合職採用における女性比率	32%	30% 超	障がい者雇用率	2%	2.3%以上		
		2020年度	KPI / 目標										
新卒総合職採用における女性比率	32%	30% 超											
障がい者雇用率	2%	2.3%以上											
安全、健康経営の更なる向上に資する取組み強化	休業災害撲滅 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>KPI / 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期健診受診率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>ストレスチェックによる高ストレス者比率</td> <td>8.2%</td> <td>10%以内</td> </tr> <tr> <td>年休取得率</td> <td>62.9%</td> <td>70%超</td> </tr> </tbody> </table>		2020年度	KPI / 目標	定期健診受診率	100%	100%	ストレスチェックによる高ストレス者比率	8.2%	10%以内	年休取得率	62.9%	70%超
	2020年度	KPI / 目標											
定期健診受診率	100%	100%											
ストレスチェックによる高ストレス者比率	8.2%	10%以内											
年休取得率	62.9%	70%超											

マテリアリティ	主な取り組み													
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">Governance</p> <p>信用・信頼に基づく経営</p>	<p>更なる経営の透明性・効率性を高めるためのガバナンス体制の強化と取締役会の実効性向上</p>	<p>・独立社外取締役比率 : 3分の1 (3名/9名)</p>												
	<p>3ライン・ディフェンスの各ディフェンスラインにおける自律的內部統制の充実によるリスクマネジメントの更なる実効性向上</p>	<p>単体及びグループ会社社員4,675名を対象に意識調査を実施 回答率: 97.8%</p>												
	<p>資金・資本コストを踏まえた経営の更なる推進</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>KPI / 目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ROIC</td> <td>3.9%</td> <td>6% 程度</td> </tr> <tr> <td>ROE</td> <td>6.5%</td> <td>9~10%程度</td> </tr> <tr> <td>配当性向</td> <td>32.4%</td> <td>30%以上</td> </tr> </tbody> </table>		2020年度	KPI / 目標	ROIC	3.9%	6% 程度	ROE	6.5%	9~10%程度	配当性向	32.4%	30%以上
		2020年度	KPI / 目標											
ROIC	3.9%	6% 程度												
ROE	6.5%	9~10%程度												
配当性向	32.4%	30%以上												
<p>安定的な利益成長に基づく株主還元の拡大</p>														

当社のESG取組みに関する詳細内容は本日発行の統合報告書をご参照願います。
(<https://www.nst.nipponsteel.com/sustainability/>)



2021年度下期の経営課題と対応方針

需給変化への適確な対応

事業環境・需給変化の前兆早期検知とリスク及び機会損失回避の実行

- ・鉄鋼需給・鋼材市況状況等の注視
- ・繊維(アパレル消費)・食糧(外食等)の需要回復動向に対する機動的な対応

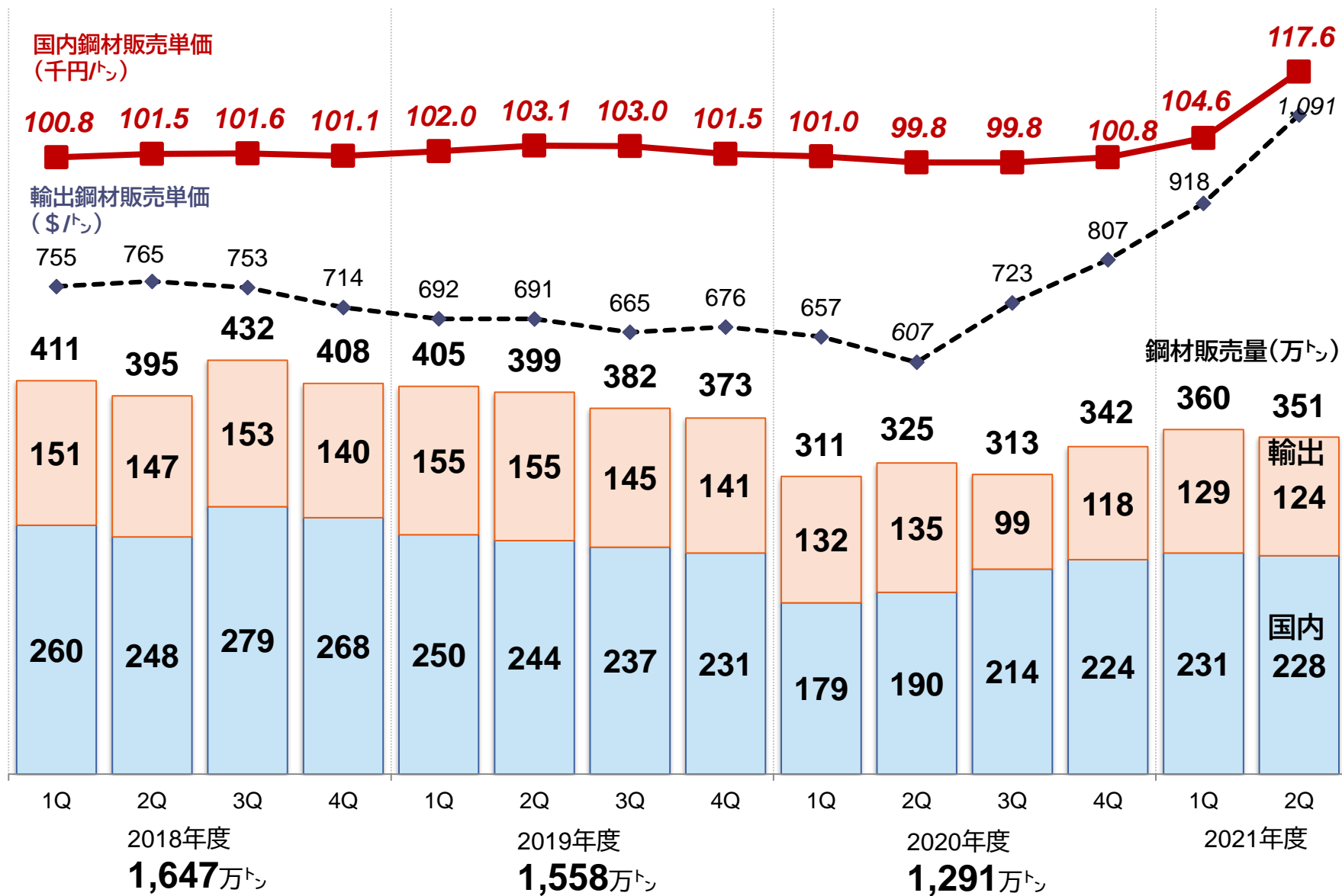
中長期経営計画「事業基盤強化策」及び「成長戦略」の前倒し実行

施策の実行状況、事業環境変化等も踏まえ、必要な補強策を迅速に検討実施

繊維事業統合の円滑実施かつスピーディーな新会社立ち上げに向けた統合準備作業を加速

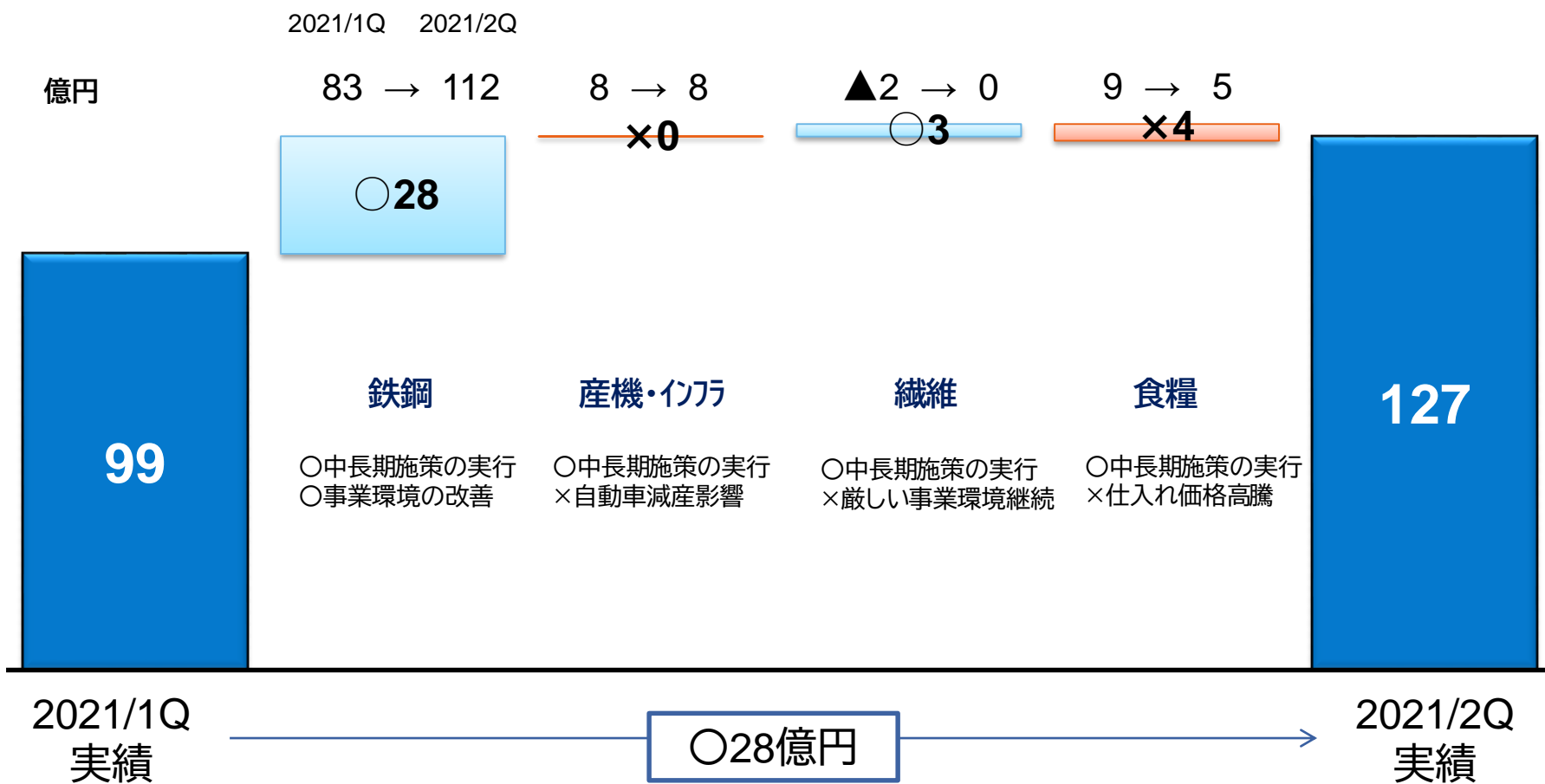
3. 参考資料

鉄鋼事業(単体) 鋼材販売量と単価の推移



経常利益増減要因 (2021/1Q実績→2021/2Q実績)

- 中長期計画施策の実行による収益改善に加え、鉄鋼事業の事業環境改善により増益
- 産機・インフラはほぼ横ばい、食糧は食肉仕入れ価格高騰影響等により減益、繊維は厳しい経営環境継続も黒字転換



損益計算書

億円							2020 年度	2021年度			上期 増減
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		1Q	2Q	上期	
(旧ベース) 売上高	(4,793) 2,946	(4,849) 3,026	(9,643) 5,972	(5,322) 3,259	(5,767) 3,478	(11,089) 6,737	(20,732) 12,710	3,883	4,628	8,511	2,539
(比率) 海外売上高	(29.2%) 860	(29.0%) 878	(29.1%) 1,739	(25.7%) 838	(27.6%) 960	(26.7%) 1,799	(27.8%) 3,539	(29.2%) 1,133	(29.5%) 1,365	(29.4%) 2,499	(0.3%) 759
(利益率) 売上総利益	(9.7%) 286	(9.1%) 276	(9.4%) 563	(9.5%) 310	(9.6%) 333	(9.6%) 644	(9.5%) 1,207	(9.4%) 366	(8.4%) 390	(8.9%) 757	(-0.5%) 194
営業利益	42	40	82	68	71	140	223	87	116	203	120
持分法損益	-0	11	10	4	9	14	25	8	10	18	7
経常利益	46	49	96	77	84	161	257	99	127	227	130
特別損益	-4	-7	-12	2	2	4	-7	-0	8	8	20
法人税等	11	16	27	25	24	49	77	26	35	61	33
非支配株主利益	3	0	3	4	4	8	12	6	7	14	10
当期純利益	27	25	52	49	57	107	159	66	93	159	107
EPS (円)	85.68	77.68	163.35	154.68	177.76	332.44	495.79	206.35	289.49	495.85	332.50

特別損益の内訳

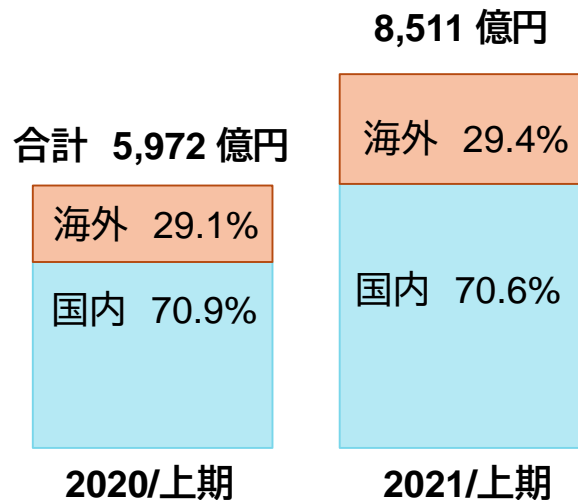
億円	2020/上期	2021/上期	増減
固定資産売却益	3.4	-	× 3.4
投資有価証券売却益	0.4	9.5	○ 9.0
保証損失引当金戻入益	-	0.1	○ 0.1
特別利益計	3.9	9.6	○ 5.7
投資有価証券売却損	0.1	0.7	× 0.6
投資有価証券評価損	4.0	0.8	○ 3.2
出資金評価損	2.0	-	○ 2.0
関係会社整理損	4.0	-	○ 4.0
債務保証損失引当金繰入額	5.9	-	○ 5.9
特別損失計	16.0	1.4	○ 14.5
特別損益計	-12.1	8.2	○ 20.3

四半期別売上高・経常利益推移

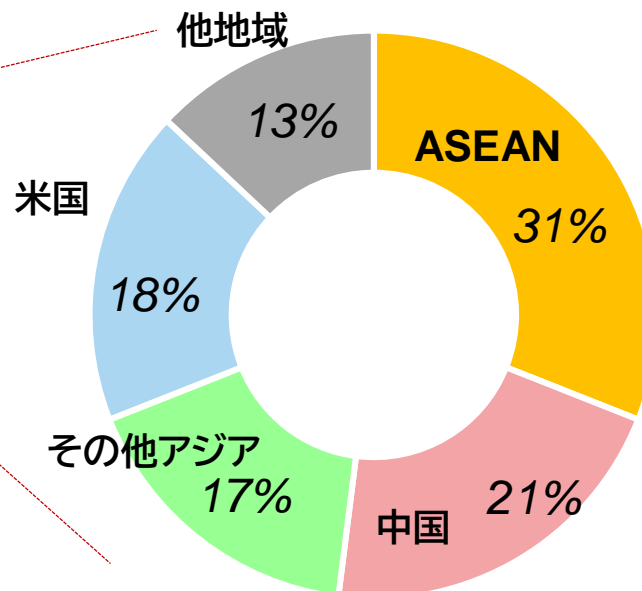
億円	2020								2021	
	1Q		2Q		3Q		4Q		1Q	2Q
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新		
鉄鋼	4,068	2,374	4,105	2,406	4,501	2,590	5,000	2,848	3,234	3,901
産機・亙万	186	148	164	132	205	164	213	179	194	199
繊維	202	198	267	263	258	253	255	252	205	261
食糧	335	225	310	223	355	250	296	196	247	266
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上高計	4,793	2,946	4,849	3,026	5,322	3,259	5,767	3,478	3,883	4,628
鉄鋼	45	46	28	29	58	58	57	57	83	112
産機・亙万	-0	-0	8	8	6	6	11	11	8	8
繊維	-2	-2	6	6	3	3	9	9	-2	0
食糧	4	4	5	5	9	9	5	5	9	5
その他	-0	-0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常利益計	46	46	49	49	77	77	83	84	99	127

当社海外売上高の推移

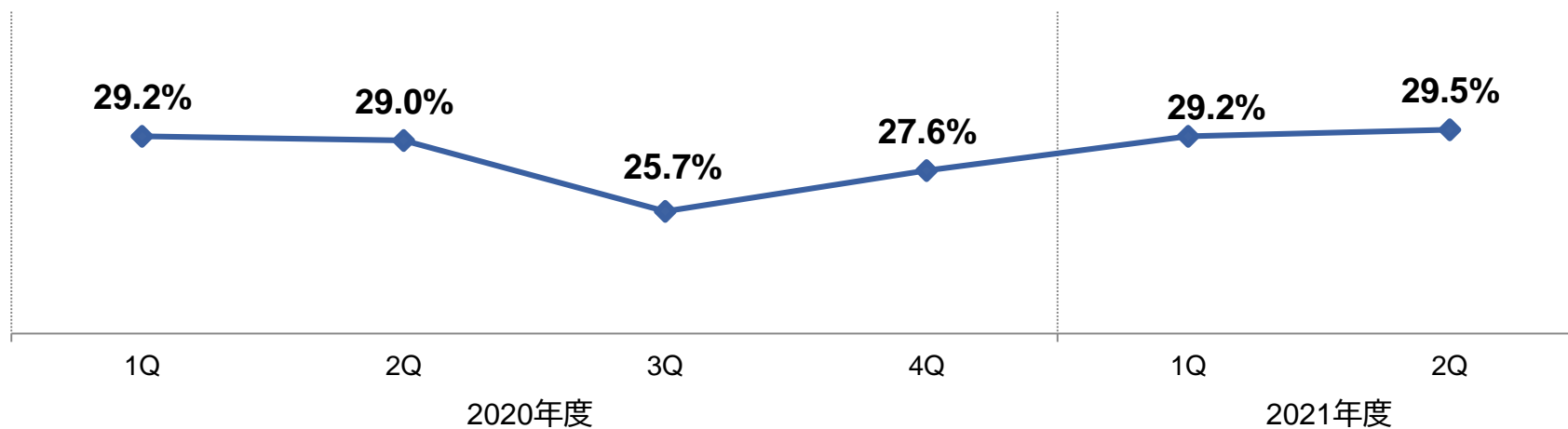
連結売上高内訳



海外売上高地域別比率



海外売上高比率推移



日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



日鉄物産

NIPPON STEEL TRADING